

アジア医師連絡協議会 (AMDA) はアジアやアフリカで自然災害や戦争による難民に対して医療による人道援助を実施している

国際医療NGO (非政府組織) である。アジアの十五カ国に約六百人の会員がいる。一九七九年に内戦によりタイ国に避難したカンボジア難民に、医師であった私と二人の医学生が救援にかけつけたが何もできなかったことがAMDAの発端である。

現在では岡山市で開業しながらAMDAの活動を続けている。国連難民高等弁務官や世界保健機関との密

接な連絡のもとにアジアの若い情熱に燃えた医師たちと緊急救援医療活動を展開

している毎日である。

取り巻いている家庭およびすばらしい人間関係に感謝している毎日である。

たることある。小学校六年生の時の中学受験のため松田先生の一言だった。以来、私は社会科が得意科目になった。それは世界

文化の多様性に心は躍った。しみじみ考えるに、私は医療による人道救助活動を通して、青春に心をときめかした世界史の一場面一面を追憶体験しているのではないかと思う。世界史という持続した興味の世界と、医師という現実世界で生きていく職業を身に着けたことは、両者ともに教育のおかげであった。

菅波 茂

(アジア医師連絡協議会代表)

アジア多国籍医師団の結成などを通じ「国際貢献都市・岡山」を提唱している。47歳。岡山市椿津。



ほめられた一言 人生の幸せ導く

している。

私はこのような活動ができる医師という職業と私を

なせこのような生きがいのある人生が送れるようになったのか。はたと思い当

は「菅波君、君の社会の点数はいいよ。良くがんばった。世界史上に躍動する人

史へと興味は発展していった。国として背景にある

この重みも知らされた。

興味と職業が結び付く人生は幸せである。私は自分の人生を通して教育を受けられることのありがたさを知った。同時に「ほめる」